

広島商船高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	体育・スポーツⅢ (M)	
科目基礎情報							
科目番号		1951006		科目区分		一般 / 必修	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		履修単位: 2	
開設学科		一般教科		対象学年		5	
開設期		通年		週時間数		2	
教科書/教材		適宜配布					
担当教員		橋本 真					
到達目標							
1 自分や周囲の心身の健康・安全について理解し、適切な行動をとる。 2 ひとりひとりが主体的になって、授業におけるルールを意識し実行できる。 3 硬式テニスでは基本的な技能を身につける。 4 クリエイティブスポーツ実習では自主的に自分たちでスポーツを楽しむことができる。 5 健康スポーツカルチャー実習では、健康やスポーツにかかわるさまざまな分野について理解する。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		自分や周囲の心身の健康・安全、授業のルールについてについて、自主的に率先して理解や判断のもと適切な行動ができる。		指示があった自分や周囲の心身の健康・安全、授業のルールについて理解し適切な行動ができる。		指示があった自分や周囲の心身の健康・安全、授業のルールについて理解して適切な行動ができない。	
評価項目2		率先して主体的に授業におけるルールを意識し実行できる。		指示があった授業におけるルールを意識し実行できる。		指示があった授業におけるルールを意識し実行できない。	
評価項目3		硬式テニスに必要な技能を習得しているだけでなく、その技術を周囲に対して教授することができる。		硬式テニスに必要な技能を習得している。		硬式テニスに必要な技能を習得していない。	
評価項目4		主体的に率先して授業の準備を計画し、状況を観察しながら実行することができる。		主体的に率先して授業の準備を計画し実行することができる。		主体的に率先して授業の準備を計画し実行することができない。	
評価項目5		健康やスポーツにかかわる様々な分野について、周囲と一緒に積極的に学習できる。		健康やスポーツにかかわる様々な分野について、積極的に学習できる。		健康やスポーツにかかわる様々な分野について、積極的に学習できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		(1)体育の学習を通じて、運動やスポーツをすることの楽しさを体験し、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する心身を醸成する。 (2)(1)のために必要な豊かな心、生きる力および規範意識の重要性について理解しながら、主体的、計画的に自身の健康と体力向上を考えて実行できる授業を展開する。					
授業の進め方・方法		通常の授業はグラウンドや体育館などの体育施設で実技を行なう。準備運動やストレッチング、トレーニングを実施し、個人の体力や技能の向上を図るとともに、ゲーム中での技術や判断、戦術理解などの総合的な能力を体得する。天候や施設などの状況により、シラバスどおりには実施できない場合がある。 ※遠隔授業と対面授業の実施数に基づいて、その評価割合は最終決定する。下記に示されている評価割合は暫定的なものであり、詳細は1月に入ってから授業で説明する。					
注意点		(1) 授業時の服装は、ジャージ等の運動ができるものとする。 (2) 安全への配慮を考慮して、当然のことながら装飾品を外し、爪を切るなど自己安全管理を求める。←減点の対象 (3) シラバスの項目・内容を確認して、ルール等を事前に予習しておく。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション、からだづくり運動		からだづくり運動の意義や必要性について理解している		
		2週	硬式テニス&選択スポーツ		硬式テニスにおいて基本的なルール、用語について理解している		
		3週	硬式テニス&選択スポーツ		硬式テニスでラリーを続けるのに必要な技能を習得している		
		4週	硬式テニス&選択スポーツ		硬式テニスでラリーを続けるのに必要な技能を習得している		
		5週	硬式テニス&選択スポーツ		ペアでラリーが20回できるようになる		
		6週	体力テスト		体力テストの意義や必要性について理解している		
		7週	体力テスト		体力テストの各調査項目について適切な実施方法を実行している		
		8週	硬式テニス&選択スポーツ		硬式テニスのゲーム中にスマッシュ、ボレーなど適切なプレーを選択している		
	2ndQ	9週	硬式テニス&選択スポーツ		硬式テニスのゲームを自分たちで運営できる。		
		10週	硬式テニス&選択スポーツ				
		11週	硬式テニス&選択スポーツ				
		12週	健康スポーツカルチャー実習		スポーツにかかわる様々な分野について学習できる。		
		13週	健康スポーツカルチャー実習				
		14週	健康スポーツカルチャー実習				
		15週	健康スポーツカルチャー実習				

後期	3rdQ	16週		
		1週	クリエイティブスポーツ実習（屋外）	スポーツ活動に必要な準備や計画について理解している
		2週	クリエイティブスポーツ実習（屋外）	スポーツ活動をするうえで、意識すべき観点を理解したうえで実行している
		3週	クリエイティブスポーツ実習（屋外）	スポーツを自分たちで楽しむために必要な技能を習得している
		4週	クリエイティブスポーツ実習（屋内）	スポーツ活動をするうえで、意識すべき観点を理解したうえで実行している
		5週	クラスマッチの練習（屋内）	
		6週	クラスマッチの練習（屋外）	
		7週	クリエイティブスポーツ実習（屋内）	
	8週	クリエイティブスポーツ実習（屋内）		
	4thQ	9週	クリエイティブスポーツ実習（屋内）	スポーツ活動に必要な準備や計画について理解している
		10週	クリエイティブスポーツ実習（屋内）	スポーツ活動をするうえで、意識すべき観点を理解したうえで実行している
		11週	クリエイティブスポーツ実習（屋内）	
		12週	クリエイティブスポーツ実習（屋内）	
		13週	クリエイティブスポーツ実習（屋内）	
		14週	クリエイティブスポーツ実習（屋内）	
		15週	クリエイティブスポーツ実習（屋内）	
16週				
評価割合				
	出席点（日ごろの体調管理）	技能点（授業の運営や体育実技や関心・意欲態度）	知識・理解（計画書の提出やレポート課題）	合計
総合評価割合	30	50	20	100
体育	30	50	20	100